

米原がますます元気に！

新しい自治会が誕生しました

開発工事が進められていた2つの地域に、平成26年4月、新しい自治会が誕生しました。これからまちづくりを進めていく2人の区長さんにお話を伺いました。

Interview

入居順で役員が決まり、抽選で区長になりました。

自治会が立ち上がったばかりなので、何もかもがこれからという状況ですが、徐々に決めていこうと考えています。

今は、2か月に1回役員会を開催しています。同世代が多いので、考え方が似ているのではと思います。

自治会の設立に当たっては、地域職員担当制度を活用しました。3人の職員が担当になって、会議への参加や、規約などをつくる際にアドバイスしていただきました。

区の役員として、区長、副区長、会計、監査のほか、市からの推薦依頼があり環境美化推進員、人権教育推進員、体育振興員、地域安全指導員を決めました。

7月には区内の美化活動をする予定ですし、ポーリング大会の企画もあり、地域の親睦が深まればと思っています。

普段、仕事をしている人がほとんどなので、負担になりすぎない範囲で自治会活動をしていきたいと思っています。

リーディング坂田区長
北川 徹さん



リーディング坂田

人口 88人
世帯 33世帯
高齢化率 1.1%
(7月1日現在)

リーディング坂田



Interview

最初に住んだ住民ということで、区長の役を任せられました。

まだ、自治会が設立されたばかりなので、何も決まっておらず、これからというところです。

でも、ルールは決めすぎたくないと思っています。何か問題があるからルールができるので、問題がなければルールを作る必要はない。決まり事が多すぎると住みにくいと思いますし。

最近、少し感じるようになってきたのは地域内のコミュニケーション不足です。今後もどんどん新しい住民が増えていきます。僕は区長をしているので、新しく住まれる人はあいさつに来てくれて、地域の人と顔がわかるんですが、お互いに知らない人が多いと思います。お互いを知ることは、防犯の一歩です



▲米原ステーションタウン区長
正田 和生さん

から、大切だと思います。

そのためにも、例えば子ども会とか、防災訓練とか、地域の人が集まれる場所が必要だと思います。最近の区の総会では、自治会館の建設について検討しているところです。

これからいろいろなことを決めていくことになっていきますが、みんなの意見を取り入れて、みんなが住みやすくなるように、みんなで作っていくことができたらいいなと思います。自分たちが住むところなので、役員に任せるのではなく、みんなが関わって考えてもらえるようにしたいですね。

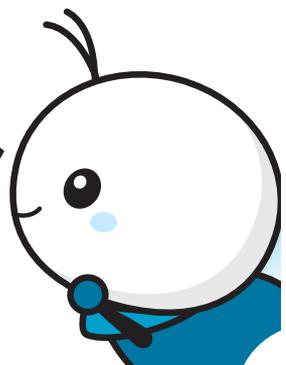
みんなで考えて
「住みやすい」と
思える地域に
していきたいですね

米原 ステーションタウン

人口 148人
世帯 51世帯
高齢化率 0.7%

(7月1日現在)

米原ステーションタウン



ごみ集積所の管理、美化活動、お知らせの回覧や配布、子ども会や老人会に地域の祭り…自治会ではさまざまな活動が行われていますが、自治会活動ってちよつと面倒。自治会がなくても困らないんじゃないの。そんな風に感じる人もいるかもしれません。

自治会は、住みよいまちづくりのために、お互いに助け合い、地域に起こるさまざまな問題をみんなで考え、解決しようとする団体です。

もし自治会がなくなったらどうなるでしょうか。公園には草が生えっぱなしになり、地域の身近な情報は届かず、ごみ集積所が管理されなければ、カラスや野良犬、野良猫のたまり場になるでしょう。ご近所付き合いがない地域には、空き巣や盗難など犯罪者に付け入るスキを与えるかもしれません。そして何より、災害が起こった直後、私たちが助け合えるのは地域の方ということ。は、阪神淡路大震災や東日本大震災の経験からもわかります。このように、自治会は、私たちの生活の基本となる問題を解消できるもつとも身近な団体であり、その役割は非常に大切なものです。

米原市の自治会加入率は90%を越えています。特に都市部では自治会加入者が減り、つながりの薄れが問題になっていて、地縁によるつながりが大切にされている地域であることは、米原市の強みでもあります。

次のページでは、昔からある自治会の中から2人の区長さんとお話を伺いました。

Interview

区の総会の選挙で今年初めて区長になりました。

人口も減っているのですが、昔から夏祭りや防災訓練などを行っています。最近の取り組みでは、平成19年から上板並、下板並、大久保、小泉の4つの集落でつくる「姉川せせらぎ懇話会」で、昔ながらの郷土料理や地元の食材を使ったごっつおを作ってふるまう「ごっつおバイキング」を開催しています。今年も10月19日に行います。

ほかにも、県や市から河川の清掃、林道の草刈の委託を請け負っています。

このあたりはほとんどがそうだと思いますが、高齢化が一番の問題ですね。若い人がいない。就職先がないので外へ出て行ってしまいます。10年後も、今の

組織が成り立っているかどうかはわからない状況です。

今年、区内の防犯灯をLEDにしました。一人暮らしの人に「明るくしてもらって安心した。暗いのが一番不安だから」と言ってもらえました。空き家も増えている中で、近所に明かりが見えないのは心細いと思います。

また、伊吹北部は、姉川沿いの県道が唯一の生活道路です。ほかに迂回道路がないので、万が一山崩れなどで遮断されてしまったら孤立してしまいます。最近、日本各地の自然災害の状況をみても他人事ではないと感じます。先日、河川愛護の表彰で知事にお会いしたときに、このことをお伝えしました。

安心で安全な住みやすい集落にしていきたいと思っています。

安全で安心な
住みやすい集落に
していきたい

上板並区

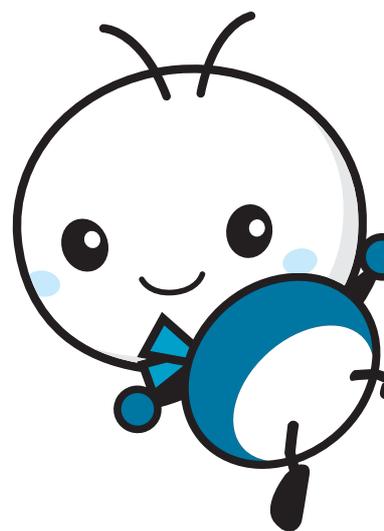
人口	203人
世帯	83世帯
高齢化率	38.4%

(7月1日現在)



▲上板並区長 伊賀並 隆政さん

上板並区



上板並区が 河川愛護知事表彰 を受彰

滋賀県が主催する河川愛護活動知事表彰式において、米原市上板並区ほか県内の3団体に、滋賀県知事から感謝状が贈られました。

上板並区は、長年にわたり一級河川姉川の草刈、清掃活動を行っています。昨年度は、2万3000平方メートルの草刈、清掃を実施し、精力的に河川愛護活動に取り組まれ、姉川の美化に大きく貢献したことが評価されました。



Interview

これまでの区の会議は、出席者は少なく、特に意見ができることもありませんでした。これでは、まちづくりができない、もっといいまちにしたいと思い、区長に立候補しました。湖北地域では、初の女性区長だったと聞きました。でも、女性に務まるのかという反発は不思議とありませんでした。今までとどう変わるのかという興味の方が大きかったのかもしれない。

区長になってからは、会議で、自分の考えを言うだけでなく、できるだけ、みなさんの意見を聞くようにしました。最初は、少なかった声も、みなさん徐々に、意見を言ってくれるようになりました。みんなの気持ちをひとつにして、地域がひとつにならないといいまちにはなりません。



▲三吉区長 亀田 友子さん

自治会に未加入の人も何人かいたのですが、1人ひとりを訪ねて、説得して加入してもらいました。何かあったときに協力し合うのは隣同士ですから。

これから、もっと力を入れていきたいのは高齢者の見守りです。孤独死が問題になっている中で、三吉区は高齢化率も高く、一人暮らしの人も多いです。民生委員児童委員もしていますので、定期的に高齢者のお宅へ訪問すると、みなさん帰り際に「楽しかった」「また来てな」と笑顔で声を掛けてくれます。

区長は大変だという人も多いけれど、私にはやりがいのある仕事です。みなさんの一言、みなさんの笑顔から力をいただいて、助けられています。みんなが助け合って、笑顔で暮らせる、そんな地域にしていきたい。その一心です。

みんなが笑顔で暮らせるようにしたいんです

三吉区

人口	610人
世帯	273世帯
高齢化率	28.5%
	(7月1日現在)

三吉区



▲昨年の盆踊り大会の様子

懸賞付き
盆踊り大会

日時 8月9日(土)
17時～20時30分
(踊り受付 17時～18時)

場所 米原診療所前駐車場

内容 盆踊り
模擬店
太鼓演奏
タオルを使って健康づくり

*賞金
1等 3万円
2等 2万円
3等 1万円

お問い合わせ
息郷地域総合センター
☎ 54-2172

ご活用ください！



まちづくりのための 補助金・制度

まちづくり活動のパートナーをお探しのときは

地域担当職員制度

地域の防災力を高めたい、地域の祭りを活性化したい、高齢者や子どもの見守りシステムをつくりたいなど地域課題の解決に向け、職員が地域担当となって、地域のみなさんと一緒に取り組みます。

問 市 各自治振興課
山東 ☎ 55-8101 伊吹 ☎ 58-2221
米原 ☎ 52-6623 近江 ☎ 52-6920

地域の防災力を強化するには

消防・防災施設器具整備事業補助

消火栓、救護用資機材、避難場所標示板などにかかる経費を補助します。

問 市 防災危機管理課（近江庁舎）☎ 52-6630

防災かまどベンチ事業補助

地域のさまざまな世代が関わる防災かまどベンチの製作や設置後の防災訓練などの経費を補助します。

問 市 各自治振興課
山東 ☎ 55-8101 伊吹 ☎ 58-2221
米原 ☎ 52-6623 近江 ☎ 52-6920

ほかにもこんな制度があります。事業の目的に応じて活用してください。

- 地域創造支援事業**（各自治振興課）
…地域課題の解決や地域の特色を生かしたまちづくり活動を補助します。
- 自治会まちづくり活動推進事業費補助金**
（各自治振興課）
…集会施設、多目的施設の新築、改修を補助します。
- コミュニティ助成事業**（各自治振興課）
…宝くじの助成金を活用し、備品の整備や安全な地域づくりなどを助成します。

新たな活力により住みよい地域にするには

地域連携による誇り創生推進事業

自治会同士の連携協定、地域資源を活用した魅力づくりと情報発信、移住希望者との交流など2つ以上の自治会が連携して、地域を住みよくするための取り組みを補助します。



問 市 政策推進課（米原庁舎）☎ 52-6626

シカ、イノシシの被害にお困りのときは

有害鳥獣対策助成事業

集落ぐるみで実施する侵入防止柵の設置や追い払い資材の購入、緩衝帯の除草などの経費を助成します。



また、ロケット花火などの追い払い資材の支給や捕獲用の檻を設置します。

問 市 林務課（伊吹庁舎）☎ 58-2229

住み慣れた場所で安心して暮らせる地域づくりには

地域お茶の間創造事業

同じ趣味や活動を行う人が集える居場所づくりや高齢者や障がい者の買い物、通院支援などの取り組みを補助します。

※平成27年度以降、制度の内容が変わります。

問 市 福祉支援課（山東庁舎）☎ 55-8110

防犯灯設置事業補助

（防災危機管理課）
…自治会内の防犯灯の設置や改良経費を補助します。



除雪機械購入補助（建設課）

…自治会内の道路を除雪する機械の購入経費を補助します。